

平成30年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援助成事業

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
1	青森市	①人材育成	～こころしあわせプロジェクト～	アニマルセラピー推進委員会	1,625	アニマルセラピーは、高齢者や子どもたちに癒やしをもたらすなどの効果があるが、本県においてはその取組が他県に比べて遅れている状況にある。H29年度に実施した高齢者向けの「動物ふれあいイベント」の対象を子どもまで拡大するため、アニマルセラピーを実施するボランティア及び指導できるリーダーの育成を図るほか、より多くの人に興味や関心を持ってもらう講演会を開催する。 【事業内容】 ①動物ふれあいイベント開催、②ボランティア育成講習会開催、③子ども・親を対象とした講演会開催、④リーダー資質向上セミナーへの参加
2	青森市	⑤観光開発	浅虫の地域資源を活用した浅虫PR活動	浅虫にぎわい応援隊	1,988	浅虫地域は、温泉と水族館を中心とした観光地であるが、観光客は最盛期の半分となり、地域の活力が低下している。このため、県内の誘客促進を図るため、浅虫の観光協会、旅館組合、浅虫水族館が連携し、浅虫の資源を活用したPR活動を行う。 【事業内容】 ①浅虫地域のPR冊子、PR資材の作成、②ショッピングモール等におけるPRイベントの開催
3	青森市	⑤観光開発	八甲田山地区温泉郷「九湯会」ブランド化&国内遠隔地・海外新市場開拓事業	八甲田山九湯会	898	八甲田地域における9カ所の温泉施設が、青森市、十和田市の行政エリアを超え八甲田山九湯会として協同組織を立ち上げた。SNS等を活用し、情報の相互運用性を確立し、国内外からの誘客を図るため、八甲田山エリア全般の観光案内等の情報発信を行う。 【業務内容】 ①九湯会ウェブサイトの開設、②360度動画の作成、③ドローンによる空撮映像の配信
4	青森市	⑤観光開発	観光資源の魅力向上による周遊促進モデル事例創出事業	公益社団法人青森県観光連盟	1,889	北海道新幹線開業開通を契機とした大型観光キャンペーンがH29年度で終了する。今後もこの効果を生かしていくためには、観光消費に結びつける観光起点での仕掛けづくりが求められている。このため、青森市ペイエリアをモデル地区とし、世界的にも認知度の高い「ねぶた」の作品群を飲食店や販売店に設置することにより、市内の周遊につなげる。 【事業内容】 ①ねぶたを生かした作品の青森市内への展示、②市内の周遊促進を図るためのPR
5	青森市	⑤観光開発	冬季インバウンド受入対応事業	八甲田振興協議会	1,357	八甲田地域への外国人観光客は年々増加しているが、夏季に比べて冬季は少ない状況にある。また、雪に馴染みがないアジア圏の観光客が手軽に楽しめるコンテンツが少ない。冬季のインバウンド誘客の促進を図るため、ロープウェイ山麓駅周辺で手軽に楽しめるスノーシュートレッキングの観光商品化に向けた体制を整備する。 【事業内容】 ①スノーシュートレッキング体験の試行、②ガイド・案内人の育成
6	青森市	⑤観光開発	第30回記念「田代高原つつじ祭り2018」開催事業	東八甲田観光開発協議会	1,132	節目となる第30回を記念した「田代高原つつじ祭り2018」を開催し、東八甲田地区の魅力県内外に周知するとともに、これを契機に観光客をおもてなしするための東八甲田地区の魅力ある環境づくりを進める。 【事業内容】 ①第30回記念「田代高原つつじ祭り2018」の開催、②東八甲田地区の魅力ある環境づくり(刈り払いや案内板・コース内の指導標等の作成・設置によるブナ林の散策道の整備)
7	青森市	⑥スポーツ・文化交流	モヤヒルズ健康増進スポーツレクリエーション	一般財団法人青森市観光レクリエーション振興財団	1,080	青森県は他県に比べ、スポーツイベントが少ない状況にあり、これが運動不足、ひいては短命県の原因にもなっている。このため、市民の健康づくりと子どもの頃から運動習慣を身につけるため、青森市内から近く、環境の良いモヤヒルズを活用し、子ども中心としたスポーツイベントを開催する。 【事業内容】 ①ウォーキングイベントの開催、②マラソン大会の開催、③MTB大会の開催
8	青森市	⑦その他	地域の歴史調査事業	三内を美しく元気にする会	150	近年、三内地域の住民の繋がりが、コミュニケーションの場が減少しており、地域の歴史や建造物、伝統、言い伝えなど地域の宝が伝承されず、失われていくことが危惧されている。地域の魅力を再認識し、地域への愛着・人々の繋がりを構築するため、「地域の歴史」について調査し、取りまとめた冊子を作成する。 【事業内容】 ①歴史調査に関する研修会の開催、②調査、③冊子の作成、④成果発表
9	弘前市	③商品開発	「愛ひろがり、さきほこる弘前ウェディング」PR事業	弘前ウエディング研究会	2,000	りんごや弘前城など、弘前ならではの地域資源を活かして、弘前で恋愛を育み、結婚式を挙げてもらう『弘前ウエディング』をキーワードに、ホテル・飲食店などの地元企業がメインプレイヤーとなって、様々な商品づくりを進め、通年で全国及び海外からの誘客や弘前市への移住に発展させようとする活動である。 【事業内容】 ①PR活動の強化、②「弘前ウエディング」の商品化に向けた現地調査の実施、③「弘前ウエディング」をリードする組織の基盤づくり

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
10	弘前市	④市場・販路開拓	ブルーンのブランド力強化・販売力強化事業	弘前ブルーンの会	2,000	りんごとの適性気候が似ており、加工適性にも優れたブルーンは、弘前市で一定量生産されているものの、認知度が低く、需要も少ない現状にある。農業者の所得確保・経営安定のためには、ブルーンの生産拡大を進めるとともに、需要の拡大が不可欠である。このため、認知度向上による生食の消費と加工需要の拡大を図り、「弘前ブルーン」のブランド化に取り組む。 【事業内容】①ロゴマーク・PR資材・ホームページの作成、②試食・宣伝活動、③先進地視察、④マーケティング調査の実施、⑤成分分析の実施、⑥加工品開発への支援
11	弘前市	⑤観光開発	弘前観桜会100周年「弘前観桜会記念日事業」	弘前観桜会100周年事業実行委員会	2,000	弘前観桜会はT7年に開催され、H30年で100周年という節目を迎える。「弘前観桜会100周年」記念事業として、各種イベントを企画。5月3日を弘前観桜会記念日と制定し、記念事業の最終イベントとして、弘前公園内での花火の打ち上げを行う。 【事業内容】①花火の打ち上げ、②弘前観桜会記念日のPR活動
12	弘前市	⑤観光開発	「リーディングライブ 朧の城物語」観劇と津軽藩ゆかりの地をめぐる旅モニターツアー	一般社団法人弘前芸術鑑賞会	1,480	「朧の城物語」を新たな地域ブランドと育てていくため、H29年に津軽為信が津軽統一を成し遂げるまでを描いた「朗読劇朧の城物語」実施した。「朧の城物語」ブランドを活用した誘客促進を図るため、「朗読劇」と弘前市の歴史的施設等を組み合わせた観光ツアー造成に向けたモニターツアーを実施する。また「朧の城物語」を素材とした商品開発を行う。 【事業内容】①モニターツアーの実施、②関連商品「朧御膳」の開発
13	弘前市	⑤観光開発	弘前さくら栈敷席事業	(公社)弘前観光コンベンション協会	2,000	「弘前さくらまつり」の課題は、滞在時間が2時間程度と短く、通過型観光になっていること、屋外型観光の宿命で天候に左右されることである。これらの課題を克服するため、屋根付きの観賞栈敷席を設けることによって、天候に左右されず、かつ、長い滞在時間を確保できる観光プログラムを観光客に提供することができ、まつり期間の消費活動を促進するものである。 【事業内容】①屋根付きのさくら栈敷席の設置
14	弘前市	⑥スポーツ・文化交流	「ダンスの街弘前」～世界にPR事業～	ひろさき芸術舞踊実行委員会	2,000	これまで「ダンスの力で弘前を元気に」との思いから、ダンスイベントの開催や世界大会を誘致してきたことにより、全国に「ダンスの街 弘前」として認知されてきた。「ダンスの街 弘前」のさらなるブランディングと国外への情報発信を行うため、他の地域にはまねできない三味線や笛と市民による楽曲・ダンスを作り、イベントで披露するとともに映像を国外へ配信する。 【事業内容】①オリジナル曲作成、②作品披露イベント開催、③映像作成
15	弘前市	⑦その他	幼老統合ケアによる「みんなの食堂」いきいき地域活性化事業	特定非営利活動法人弘前子どもコミュニティ・ぴーぐる	800	地域の交流が希薄となり、子ども・若者・高齢者が孤立している。また、ひとり親家庭における子ども、ひとり暮らしの高齢者の「孤食化」も進んでいる。誰もが安心できる幼老統合ケアの「居場所」を作り、地域の子育て支援、高齢者見守り支援により地域を活性化していくため、多くの住民が共に夕食を食べることができる「みんなの食堂」を開設する。 【事業内容】①「みんなの食堂」の開設、②「交流会」の開催、③会報の発行
16	八戸市	①人材育成	地元就職促進に向けた地域企業魅力発信事業	八戸市企業誘致促進協議会	1,554	八戸市の高校・大学生の地元就職率は、全国平均の81%を大きく下回っている。全国的な若年層の人口減少が進む中、県外への流出がますます拡大すると考えられる。就職を考えている学生に八戸市の企業や地域の魅力を知ってもらい、幅広い職業観、地元愛を醸成し、地元就職率を高めるため、企業の魅力をわかりやすく紹介する冊子を作成し、配布する。 【事業内容】①促進協関連企業の魅力を発信する冊子の作成、②学生への冊子の配布、イベントやWebでの活用
17	八戸市	①人材育成	小中野新丁夜店「お祭りひろば」	新丁商店会	800	八戸市新丁商店街は、「八戸の銀座」と言われたほどの賑わいがあったが、近年、空き店舗が増加するなど、商店街全体が衰退している。このため、毎年開催される「小中野新丁夜店」において、新丁商店街特有の若者を中心とするステージイベント「お祭りひろば」を開催し、新丁商店街の賑わいづくりに資するほか、将来を担う若者の育成と空き店舗の解消を目指す。 【事業内容】①「お祭りひろば」の開催
18	八戸市	⑤観光開発	市民連携「みなとまち」八戸発信事業	公益社団法人八戸青年会議所	2,000	八戸市から若者の人口流出が多いことから、地域への理解と想いを育み、郷土愛の醸成することで定着化を図っていく必要がある。このため、八戸市内の高校生や大学生、まちづくりに興味がある市民から公募した「まちづくりチーム」を立ち上げ、「海に生まれた地域である港町」に焦点を当てたアニメーション作品を作成し、イベントにおいて上映する。 【事業内容】①港町を題材としたアニメーションの作成、②アニメーションの上映

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
19	八戸市	⑥スポーツ・文化交流	市民音楽祭「ミュージックレビューHACHINOHE2018」	ミュージックレビューHACHINOHE実行委員会	900	音楽のメッカ八戸を目指し、H23年から市民参加型の音楽祭「ミュージックレビューHACHINOHE」を開催している。根付いてきている音楽祭を通して、市民に、地元アマチュアミュージシャンの存在を知ってもらうとともに、アマチュアミュージシャンに発表の場を提供する。また、八戸の魅力の一環として、市民参加型の音楽祭を全国に広く発信し、八戸市中心市街地の賑わいづくりを創出する。 【事業内容】①市民音楽祭「ミュージックレビューHACHINOHE」の開催、②市民音楽祭テーマソングの作詞・作曲
20	五所川原市	⑤観光開発	インバウンド促進のための外国人との体験交流事業	五所川原商工会議所	1,258	外国人観光客は「体験」に関心が高いことがH29年度の支援助成により明らかとなった。五所川原地区で観光客が参加できる「体験観光」を本県に留の外国人に参加してもらい、外国人目線からの評価を得るとともに、結果を地域の観光に関係する事業者へ周知する。 【事業内容】①体験観光の実施、②結果周知のための資料作成、③外国語会話冊子の作成と会話指導、④外国人による総合検討会
21	十和田市	⑤観光開発	十和田市伝統芸能の人材育成・観光コンテンツ化事業	一般社団法人十和田市観光協会	1,000	地元の伝統芸能(神楽・獅子舞など)や十和田囃子の継承を推進しながら、これらを十和田市の新たな観光コンテンツに位置付けていくため、H29年度から市内や近隣市町村の祭、市内宿泊施設などにおいて、演奏演舞の機会を設けている。H30年度は、引き続き伝統芸能等の継承と観光コンテンツの開発に努めるほか、高齢化が進む演者の後継者育成にも取り組んでいく。 【事業内容】①「伝統芸能を鑑賞するタベ」の開催、②後継者育成体験学習の実施、③県内イベントの出演、④協会HPでの情報発信
22	十和田市	⑤観光開発	第3回十和田湖マラソン大会	十和田湖マラソン大会実行委員会	2,000	十和田湖地域への誘客促進を図るため、これまで十和田湖マラソンを2回開催した。さらなる集客を図るため、新たに子ども、ファミリーでも参加できる短距離のコースを設定した第3回十和田湖マラソンを開催し、十和田湖の魅力を体感してもらうとともに、十和田地域の食をPRする。 【事業内容】①第3回十和田湖マラソンの開催(ハーフ(21km)コースのほか、10km、2～3kmコース)、②ヒメマス汁、十和田バラ焼き等の郷土料理の無料提供
23	十和田市	⑤観光開発	十和田湖・奥入瀬・鳶の森全国短歌大会	特定非営利活動法人十和田奥入瀬郷づくり大学	820	十和田八幡平国立公園は貴重な観光資源であり、さらなる誘客促進に向け、国ではH28年に「十和田八幡平国立公園ステップアッププログラム2020」を策定した。その一助とするため、奥入瀬・鳶の森などの景勝地の中で全国の短歌愛好者の交流を図り、短歌を通じて十和田湖地域の魅力を発信するため、全国短歌大会を開催する。 【事業内容】①全国短歌大会の開催、②十和田湖・奥入瀬・鳶の森鑑賞会、③投歌箱の設置、④入賞作品の展示
24	十和田市	⑦その他	とわだストリートフェスタ「ハロウィン2018」	十和田市七・八丁目商店街振興組合	1,000	十和田市の商店街は郊外店の進出により客足が遠のき、空き店舗が増加して「シャッター通り」と呼ばれている。十和田市商店街全体の賑わいを取り戻し、活性化を図るため、12年前から当商店街振興組合が実施してきた集客力のあるイベント「とわだストリートフェスタ・ハロウィン」を開催するとともに、その中で初めての試みである「空き店舗」の利用によるチャレンジショップを開催する。 【事業内容】①ハロウィンtrick or treatの開催、②ワークショップの開催、③空き店舗を利用したチャレンジショップの開催
25	三沢市	⑤観光開発	冬季まちなかイルミネーションによる観光消費促進事業	三沢市商工会	1,846	冬季(クリスマス時期)のイルミネーションはアメリカ文化であり、米軍基地を有する三沢市には馴染み深く、必然的な存在である。H28年度より実施している中心街の「なかよし公園」等でのイルミネーションの規模を拡充しながら、目玉となる併催イベントを実施し、観光客の増大による経済効果の拡大を図る。 【事業内容】①「ミサワ・パンタシア」イルミネーション装飾と野外仮設バーの設置、②市内イルミネーション装飾への支援
26	三沢市	⑦その他	小川原湖エコミュージアム設立事業	小川原湖自然楽校	1,748	小川原湖自然楽校では、従来より小川原湖の自然を利用したエコツアーリズムを行ってきた。今般、国内では阿寒湖と小川原湖にしかない球形のマリモ(自生)に着目し、「小川原湖エコミュージアム」を設立してマリモの研究、観察等を行う。また、従来のエコツアーリズムを充実させ、マリモが生息する小川原湖の魅力強く発信する。 【事業内容】①エコミュージアムの設立によるマリモの調査研究、②エコツアーリズム(水生生物・水草観察会、各種トレッキングなど)の開催
27	むつ市	④市場・販路開拓	全国アピオスサミットinむつ	下北アピオス振興会	1,416	下北半島においては、アピオス生産者が増加するとともに、徹底した品質管理と一定の規格を維持した「下北アピオス」ブランドを育て上げており、食味も含めて他の産地に負けない商品になったと自負している。しかしながら、アピオスそのものの全国的な知名度は依然として低いことから、アピオスの全国における認知度向上を目指し、全国大会を実施する。 【事業内容】①「全国アピオスサミットinむつ」の開催(アピオスの研究結果報告、アピオス料理コンテスト、サミット宣言)

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
28	むつ市	⑤観光開発	むつ市の夜景を見に行こう!!～バス・タクシー期間限定無料運行～	公益社団法人むつ市観光協会	1,333	下北地域は、北海道新幹線の開業やインバウンドによる観光客の入れ込みの伸び悩み、中でも、函館市からの観光客の素通りが多いことにより、むつ市内への宿泊者数が伸び悩んでいる。このことから、むつ市内への宿泊者を確保すべく、滞在型観光の確立とリピーターの増加に向け、釜臥山からの夜景(光のアゲハチョウ)を新たな観光資源として育て上げていくものである。 【事業内容】①無料タクシー・無料バスの運行、②オプションツアーの造成、③夜景PR活動の実施
29	むつ市	⑤観光開発	大湊天然水を活用した商店街活性化事業	協同組合むつ専門店会	755	大湊には湧水が10数か所も点在しており、8つの湧水は名前がついているが、活用されていない。また、H31年にむつ市政60周年を迎えることを契機として、大湊への誘客を促進し、地域を活性化するため、この隠れた観光資源である湧水と東北では唯一の「兵主神」を祭った兵主神社巡る「大湊天然水巡礼」をむつ高等技術専門学校生徒に協力してもらい観光メニューとして開発する。 【事業内容】①巡礼者のためのマップ作成とWeb掲載、②下北ひばを活用した巡礼グッズ開発、③大湊天然水巡礼会の開催(5回)とPR
30	むつ市	⑥スポーツ・文化交流	AIR In MutsuKawauchi(滞在型地域連携アートプロジェクトむつ川内)	むつ市	1,800	むつ下北地域は、自然や食、歴史などの地域資源に恵まれており、更に暮らしやすい地域づくりのため、生活基盤の整備を進めてきたが、美術館など芸術に触れる場所がない。子どもを始めとした地域住民が芸術に触れる機会を作るとともに、新たな観光資源を創造するため、学生による絵画作品の製作、展示を行う。 【事業内容】①美術を専攻する大学生の招聘、②大学生による絵画の製作、③絵画の展示、④大学生と地域住民との交流
31	むつ市	⑦その他	地域商店街活性化イベント子供ネプタ盆踊り大会&歩行者天国	田名部駅通商店街振興組合	648	商店街主導で7年前に復活させた「子どもネプタの運行」、「盆踊り大会」、「歩行者天国」は、子どもからお年寄りまで参加できるイベントとして定着していくことを期待したが、主催する側とイベントへ参加する若者が少ない。地域の若者と商店街の結びつきを深め、地域の活性化に繋げていくため、これらのイベントを地域全体で継続的に開催していく体制を構築する。 【事業内容】①子どもネプタの運行、②盆踊り大会の開催、③歩行者天国の開催
32	つがる市	⑦その他	きづくり商店街散策マップ製作事業	きづくり商店街振興会	518	旧木造町の商店街は、郊外型大型店舗の進出により経営が厳しい状況にあり、6つあった商店街の組合をH28年に合併し、商店街活性化に向けた取組を開始した。その第一弾として、地域の方に商店街を知ってもらうこと、また観光客に街を散策してもらうため、商店街のマップを作成する。 【事業内容】①散策マップの作成
33	平川市	⑥スポーツ・文化交流	スポーツによるまちづくり事業(ひらかわスポーツフェスティバル)	特定非営利活動法人平川市体育協会	800	平川市ではH27年に「健康づくり宣言」をし、「自分に合った運動やスポーツのある生活を楽しみます。」など5つの目標を掲げた。一方で、市民には運動離れが進んでおり、誰でも気軽にスポーツを始められる環境が必要となっている。スポーツによって地域レベルの健康増進を図ることを目標に、多種多様なスポーツを体験できるスポーツフェスティバルを開催する。 【事業内容】①11種目のスポーツ教室の開催、②12種目のスポーツ体験の実施、③レクリエーション運動体験の実施
34	平川市	⑥スポーツ・文化交流	チャンバラ合戦in平川	一般社団法人平川市観光協会	1,020	関東中心に広がってきている「チャンバラ合戦」を、平川市の新たな観光資源にするため、「チャンバラ合戦」を開催することし、このイベントを市内外にPRする。その中で、猿賀公園の蓮の花が咲かなくなったことで一時休止していた「蓮の花まつり」の復活を、市民に知ってもらい、一体感を醸成するとともに、市内外にもPRする。 【事業内容】①チャンバラ合戦 in 平川の開催
35	平内町	②技術開発	地域資源の利用によるキノコ通年栽培技術確立事業	藤沢活性化協議会	268	農家の高齢化に対応した軽作業で通年栽培を可能とする「ハタケシメジ」の栽培に注目し、空き家を活用した菌床の培養実証を通じて、菌床ブロックのコストダウンを図る栽培技術確立する。これにより、他産地と競争できる安価な「ハタケシメジ」の栽培を実現するほか、収穫物の加工品までの6次産業化を進め、稲作だけに頼らない安定した農家経営の確保を目指す。 【事業内容】①「菌床ブロック」の確保、②空き家を活用した通年栽培(室内試験栽培、冬期間の栽培実証試験、収穫物の試験販売、加工品の試作、パッケージデザインの検討)
36	今別町	②技術開発	いまべつ牛ブランド化に向けた飼育技術開発及び販売戦略検討事業	いまべつ牛販売促進連絡協議会	1,886	「いまべつ牛」は、特徴がないことから他の産地との差別化が難しい現状にある。このことから、地域資源である海藻を飼料に使った飼育の研究を進め、特徴があって、かつ、これによる付加価値の高い「いまべつ牛」を育成を図る。 【事業内容】①海藻を飼料に活用した飼育技術の開発研究、②市場・販路開拓に向けた検討会の開催

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
37	今別町	③商品開発	いまべつ海産物加工品販売促進事業	竜飛今別漁協女性部	300	町特産の海産物を活用した加工品については、販売できる商品の種類が少なく、道の駅等では観光客等から今別産の商品が求められている。このため、新たな商品開発や販売活動に取り組み、漁業を活性化していくことを目的に、今ある試作品を磨き上げ、商品化するとともに、新たな商品開発に向け、技術を習得する。 【事業内容】①加工技術の向上研修の開催、②加工品の商品化、③商品のPR活動
38	鱒ヶ沢町	③商品開発	「深谷の栗」で元気発信！あじがさわ事業	一般社団法人鱒ヶ沢町観光協会	1,656	白神山地の麓にある鱒ヶ沢町深谷地区は美味しい栗の産地であるが、高齢化に伴い、収穫・加工の作業性が低下し、収量が減少している。「深谷の栗」のブランド化により町の知名度向上、誘客促進を図るため、産地の強化に向けた体制整備をするとともに、「深谷の栗」のPR、栗を使ったお土産品の開発を行う。 【事業内容】①加工作業の効率化、貯蔵技術向上に向けた機器整備、②深谷の栗PRツール作成と栗拾い体験、③栗を使ったお土産品(焼酎、栗かのこ)の開発
39	鱒ヶ沢町	⑤観光開発	日本遺産「北前船」の港町魅力再発見事業	鱒ヶ沢町教育委員会	700	H29年に鱒ヶ沢町が日本遺産「北前船寄港地・船主集落」に指定された。これを活用して、町歩き事業など、観光開発に結び付け、北前船寄港地の歴史空間を活かした地域活性化に結び付けるため、鱒ヶ沢町における北前船ゆかりの街並み、建築物など隠れた遺産の基本的調査を行うとともに、町民への周知のため説明会と実際に町歩き体験を行う。 【事業内容】①港町に残る歴史的町並み、建築物の調査、②調査結果に関する講演会の開催と建築遺産めぐり
40	深浦町	③商品開発	山椒を活用した6次産業化プロジェクトH30	深浦町	1,669	深浦町内に自生しながらも、これまで全く活用されていなかった野山椒を活用して、白神深浦山椒というブランドを作りあげ、町の特産品として新たな産業の育成、雇用の創出に繋げていく。 具体的には、町内で、白神深浦山椒ブランドと命名した山椒を栽培・加工し、白神深浦山椒ブランドの商品開発を進める。 【事業内容】①視察調査の実施、②山椒の栽培試験・苗木の育成、③健康関連商品の開発、④PR活動の実施
41	深浦町	③商品開発	浜を支えるかっちゃんの商品開発事業	風合瀬漁業協同組合 女性部 加工部会	204	消費者の魚離れにより魚価が低迷している中で、漁業所得を確保するためには、加工による付加価値づくりが必要となっている。地元で漁獲される安価な海藻、魚を原料に、子どもにも受け入れやすく簡便な調理で食べられる商品を開発する。 【事業内容】①アカモク加工品の開発、②魚類挽肉加工品の開発
42	西目屋村	⑥スポーツ・文化交流	カヌーフェスティバルin津軽白神湖	青森県カヌー協会	1,080	H28年に津軽白神湖(津軽ダム)が完成し、カヌーなどのパドルिंगスポーツで有効活用できる状態となった。西目屋村の観光振興と子ども達へのパドルिंगスポーツの普及を目的に、第2回「カヌーフェスティバルin津軽白神湖」を開催する。併せて、継続的なフェスティバル開催に向け体制を構築する。 【事業内容】①パドルिंगスポーツ体験会の開催、②カヌー教室の開催、③水上レクリエーションの開催、④清掃活動の実施、⑤継続開催に向けた備品の購入
43	大鰐町	⑤観光開発	つつじライトアップと浜圭介杯争奪カラオケ大会連動事業	大鰐温泉観光協会	1,477	「大鰐温泉つつじまつり」期間中における観光客の増加を図るため、「つつじライトアップ事業」を展開してきた効果により、まつり期間は、夜間でも賑わうようになってきている。このため、引き続き「つつじライトアップ事業」を行うとともに、開花時期や雨天などの気候に左右されずに集客効果が見込める仕組みも加えて、「大鰐温泉つつじまつり」の安定した集客を図っていく。 【事業内容】①つつじライトアップの実施、②浜圭介杯争奪カラオケ大会の開催
44	野辺地町	④市場・販路開拓	商品による「のへじ北前」PR事業	のへじ北前ブランド推進協議会	219	野辺地町は北前船の一大寄港地であったことから、野辺地らしいお土産や料理などを北前船と結びつけた「のへじ北前ブランド」の認定商品を開発してきている。この「のへじ北前ブランド」認定商品の知名度を高めるため、PR活動を展開する。 【事業内容】①のへじ北前ブランド商品PR活動、②のへじ北前ブランドのPR資材作成
45	七戸町	⑦その他	直売所を活用した『もっと高齢者による実験的地域づくり』支援事業	特定非営利活動法人ひろだいらサーチ	228	高齢化社会への対応は、本県の最大の課題である。七戸町白石地区をモデル地区として、地域に住む高齢者が生きがいを持ち、地域で生活を続けていくことにより、活力ある地域を持続していくことを目標として、高齢者の生きがいづくりへの支援、家庭菜園野菜の試験的販売を行う。 【事業内容】①参加意欲の向上に向けた支援、②「無人直売所」を活用した家庭菜園の野菜の集荷・販売の実証試験

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
46	横浜町	⑥スポーツ・文化交流	「横浜の手踊り普及推進事業」	横浜町南部手踊り保存会	626	S10年代に旧南部町より伝わった「横浜町南部手踊り」は町の無形民俗文化財になっており、後代へ継承していく必要がある。「横浜町南部手踊り」を確実に保存伝承するために、ルーツを南部町で調査し、取りまとめるとともに、新たな演目を確立するため練習会を開催する。また、若い世代へ継承するため、子どもたちの見学会を開催する。 【事業内容】①手踊りルーツ探し、②「南部あいや節」の技術向上、③子供たちの大会見学等
47	東通村	⑤観光開発	平成30年度「東通天然ヒラメ刺身重」販売促進を軸とした東通村PR事業	東通村	2,000	H29年7月に「東通天然ヒラメ刺身重」がデビューしたことを契機に、初めて村に訪れる観光客が増加した。更なる観光客の増加と地域への経済効果を高めるため、ヒラメ重に加え、下北ジオサイトを始めとした観光地や県内トップクラスの水産物などの特産品を盛り込んだ冊子を作成し、PRに活用する。 【事業内容】①ヒラメ重をメインとした東通村PR冊子作製
48	田子町	⑤観光開発	田子町観光コンテンツパワーアップ事業	田子町観光協会	889	田子町には観光スポットはあるものの、滞在する時間が短いために経済効果が小さい。このため、町内の観光スポットとそれを巡るコース情報を音声で自動解説するシステムを活用して、自転車による観光周遊コースを設定し、新たな観光メニューとして確立する。 【事業内容】①コースづくりの検討、②コースの試走
49	田子町	⑤観光開発	オールドカーフェスタin田子	オールドカー田子	482	町おこしの一環として、10年前から『オールドカーフェスタ』を開催してきているが、認知度の上昇に伴い、来場者も年々増加している。引き続き、『オールドカーフェスタ』を開催するとともに、安全面にも配慮するため、来場者への案内表示などをより充実させる。また、更なる来場者増に向け、「にんにくとべこ祭り」と一体的に開催する。 【事業内容】①オールドカーin田子の開催、②継続開催に向けた体制の充実
50	東青	⑤観光開発	八甲田四季の魅力PR事業	八甲田ブランディング協議会	660	八甲田そのものがスキー、スノーボード、登山における熟練したプレイヤーの場であるというイメージが強く、一般県民の来訪の機会が少ない。八甲田は、観光シーズンやスポーツシーズン以外の盛夏から初秋でも、美しい夜空やハイキングなど、親子で十分に楽しむことができ、上級者でなくても冬のスポーツを満喫できることを一般県民に発信し、レジャー感覚による八甲田への来訪者の増加を目指す。 【事業内容】①夏の宿泊体験・調理体験の開催、②秋のイベント「八甲田秋まつり」の開催
51	東青	⑦その他	不登校生徒の居場所づくり事業	特定非営利活動法人コミュナーあおもり	1,161	不登校児童・生徒の対策として行政も動いているが、その数は依然として多く、また、行政の縦割りで横断的な対策がとれない状況にある。このため、不登校問題の解決に向けて、不登校予備群も含めた児童生徒及びその親を対象としたセミナーの開催、学校に行けない児童生徒の居場所、悩みを抱える親が相談できる場として「ひだまりカフェ」を開設する。 【事業内容】①不登校、ひきこもり、保護者のためのセミナー＆相談会の開催、②ひだまりカフェでの不登校等生徒を対象とした授業、保護者を対象に悩みを引き出す趣味講座の開催
52	三八	④市場・販路開拓	八戸圏域農水畜産品海外販路拡大可能性調査	八戸市	2,000	八戸市では、地場産品の輸出拡大に向けた取組や支援策により、アメリカ等へのルートを開拓してきた。昨年、中核市に移行するとともに、圏域8市町村で連携中枢都市圏を形成したことを契機として、さらなる輸出拡大に向け、実現性の高い輸出国及び品目を調査する。 【事業内容】①企業別、産品別の輸出可能性調査
53	三八	⑦その他	青森県産畜産物の消費拡大と畜産業への就労拡大に向けた啓蒙活動	一般社団法人青森県畜産・飼料コンビナート振興協会	2,000	本県畜産業は、分野別農業産出額のトップであり、牛、豚、鶏(卵・肉)ともに国内で有数の産地であるが、消費者には知られていない。また、畜産業に対するイメージが悪く、担い手不足が課題となっている。このため、将来の担い手となる小・中・高校生に職業選択の一つとして畜産業を意識してもらうとともに、県産畜産物の消費拡大を推進する活動を展開し、本県畜産業の発展に資する。 【事業内容】①畜産企業見学会の開催、②グルメパーティーの開催、③畜産フェアでの料理教室開催、④畜産に関する情報誌の発行
54	三八	⑦その他	出張！チャレンジ・マルシェ！	名久井岳トレイルフェスティバル実行委員会	340	南部町は人口減少の進行が早く、若者の定住促進が重要な課題となっている。定住を進めるためには、地域で所得を確保できるような環境づくりを進めるとともに、若者が活躍する場を提供し、その活動を通して地域の若者のネットワークの構築が重要であることから、チャレンジ精神が旺盛な若者が出店するチャレンジマルシェを開催する。 【事業内容】①地元に住む若者によるチャレンジマルシェの開催

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
55	西北	④市場・販路開拓	地場産品消費拡大事業(第6回五所川原バル街)	五所川原バル街実行委員会	857	H27年度から実施している「五所川原バル街」について、H30年度は、県内でのより一層の認知度の向上と市内店舗の意識醸成による参加店の増加を図りながら、地元産品の消費拡大に取り組むものであり、将来的にはイベントを定着させて、自立した運営を目指す。 【事業内容】①参加店セミナーの開催、②バル街開催地連携企画の提案、③バル街の開催
56	西北	⑤観光開発	アカムツを始めとした西海岸の魚の美味しさを広めよう事業	西海岸アカムツプランディング実行委員会	1,500	西海岸は「アカムツ」を始めとした美味しい魚の産地であり、マグロステーキ丼など「食」による誘客活動が行われているが、その資源を生かし切れていない。「釣り」をツールとして、その美味しさを全国に知ってもらい、交流人口を拡大することを目的に、フィッシングフェスタを開催するとともに、地元の受入体制の整備に向けたフォーラムを開催する。 【事業内容】①西海岸アカムツフィッシングフェスタの開催(マナー等に関するセミナー、魚の試食会、プロの指導による実釣会)②漁業者、地元企業、釣り人等による漁村活性化フォーラムの開催
57	西北	⑥スポーツ・文化交流	津軽の「むがしっこ」二市合同伝承事業	むがしっこ語る会「ゆきん子」	360	当会は、後世に「むがしっこ」の文化を継承することを目的に活動しているが、人材不足、高齢化等により事業の存続が難しくなっている。同じ活動を行う、つがる市の「つがる野文庫の会」と連携することにより、体制を強化し、将来の人材を育成して活動を継続していくため、プロの語り部からの指導、先進地視察、勉強会等を実施する。 【事業内容】①プロの語り部による講座の実施(2回)、②先進地視察の実施、③昔っこサミットの開催、④熊澤南水語りの世界の開催
58	上北	④市場・販路開拓	小川原湖が育む特産食材の販路開拓・プロモーション事業	小川原湖漁業協同組合	1,864	小川原湖の漁業経営の安定化に向け、シラウオ、シジミ、ワカサギなど、これまでの販売促進活動の実績を踏まえ、H29年度から「直販」の事業化に向けた実証実験を進めてきた。H32年度の「組合直販」実現を目指して、国内外の料理人・バイヤー・一般消費者に対し、積極的に小川原湖の食の魅力を知ってもらう機会を作り、小川原湖をPRしていくことで認知度向上と魚介類の消費拡大を図る。 【事業内容】①小川原湖食材プロモーションイベントの開催、②小川原湖食材タイアップイベントの開催、③国内外商談会への出展
59	上北	⑤観光開発	あおもりグリーンライドinおがわら湖	青森県サイクリング協会	556	小川原湖を1周するサイクリングコースは、平坦で景色も良く走りやすいことや、サイクリングロードや施設が充実し理想的なコースであるが、あまり知られていない。このため、サイクリングフェスティバルを開催し、コースを知ってもらうとともに、小川原湖の産品や観光地をPRし、誘客を促進する。 【事業内容】①あおもりグリーンライドinおがわら湖の開催
60	上北	⑥スポーツ・文化交流	音楽のたからばこ～赤ちゃんから聴ける&遊べるファミリーコンサート～Vol.2	Colors(カラーズ)	582	青森県、特に上北地域は、都会に比べ子ども達が音楽に触れる機会が少ない。また、赤ちゃんから小学生を対象としたものが少ない状況にある。このため、子ども達が音楽や芸術に興味を持ち、上北地域の音楽、芸術活動を活発化することを目的として、子ども(赤ちゃんから中学生)とその家族を対象にファミリーコンサートを開催する。 【事業内容】①子どもの絵の募集 ②絵を使った映像の作成 ③コンサートの開催(映像に合わせた演奏、参加型の音楽とダンスのコラボレーション等)
61	上北	⑥スポーツ・文化交流	ジュニアとシニアを結ぶ! Let's HIP HOP DANCE! ～こどもHIP HOP ぱらだいす vol. 4～	とわだ市民活動ネットワーク	410	上十三定住自立圏構想の趣旨に賛同し、上十三定住自立圏域10市町村の子ども達を対象に、人気となっているヒップホップダンスの練習成果を発表する機会を提供するほか、ダンスを愛し学ぶ子ども達とその保護者達の交流の輪を広げるとともに、ダンスを通じてシニア世代と子ども達との交流を促進する。 【事業内容】①こどもHIP HOP ぱらだいす vol.4の開催、②初心者(子ども)向けヒップホップダンス無料ワークショップの開催、③シニア向けヒップホップダンス無料ワークショップの開催
62	下北	⑤観光開発	下北ジオパークツアー誘客推進事業	一般社団法人しもきたTABIあしすと	926	H28年9月に「下北ジオパーク」が、日本ジオパークの認定を受けたことから、H29年度にむつ財団の支援を受け、まずは地元の高中生等に地元のお宝を知ってもらうためのツアーを実施し、高い好評を得た。H30年度は、「下北ジオパーク」を下北の観光振興に活用することとし、観光誘客に向けた事業を展開する。 【事業内容】①旅行エージェントの招待に関する営業活動の実施、②旅行エージェントによる「下北ジオパークモニターツアー」の実施
63	下北	⑦その他	エネルギー政策促進フォーラム2018in下北	青森地域エネルギー施設立地商工団体協議会	700	東日本大震災以降、原子力発電所の運転停止、建設中断により、下北地域の経済に大打撃を与えてる。一刻も早い原子力政策を中心とするエネルギー政策の促進を図ることを目的に、下北地域の関係者・一般市民が原子力産業の将来展望や課題について議論を深め、情報発信していく「エネルギー政策促進フォーラムin下北」を開催する。 【事業内容】①記念講演の開催、②専門家による基調講演・パネルディスカッションの実施

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
64	津軽	①人材育成	「少年・少女による省エネ・節電アイデアコンテスト」	一般社団法人環境マテリアル推進機構青森支部	641	化石燃料の使用に伴うCO2の増加が地球温暖化を加速しており、それぞれの立場から改善に取り組み、子供たちの住みよい環境を守っていく必要がある。例えば、少年・少女に遮熱材を活用した省エネ・節電につながるアイデアを柔軟な発想で考えてもらうことなど、将来の想像力豊かな担い手として育成して行くことを目的に、アイデアコンテストを開催する。 【事業内容】①アイデアコンテスト募集セミナーの開催、②アイデアコンテスト賞の審査・表彰式の開催
65	津軽	①人材育成	第3回つがる日本海お魚大漁まつり	つがる日本海お魚大漁まつり実行委員会	2,000	県内の日本海沿岸10漁協に所属する漁協職員・漁業者・女性部が連携し、日本海から漁獲される魚介類の消費拡大を図りながら、後継者育成にも直結する漁業と観光業が融合した産業を興すことを目的に、鮮魚及び加工品の販売、若者が楽しめるイベントなどを企画する「つがる日本海お魚大漁まつり」を開催する。 【事業内容】①第3回つがる日本海お魚大漁まつりの開催、②漁業体験モニターの実施
66	津軽	③商品開発	弘前大学白神微生物ブランド化推進事業	ひろさき産学官連携フォーラム白神酵母研究会	800	弘前大学において白神山地から分離・選抜した「弘前大学白神酵母」のブランド化とそれを活用した商品づくりを支援する取組を展開してきた。また、白神山地の乳酸菌やキノコなどの有用微生物に関する基礎的研究にも取り組んでおり、これまでの白神酵母を活用した商品づくりに加え、有用微生物を含めた新たな商品づくりにも支援し、世界遺産白神山地のブランド化を図る。 【事業内容】①関連商品の商品化への支援(白神酵母カタログの作成、有用微生物の勉強会の開催)、②販促活動への支援(見本市、催事等への出展、ブランドマークの使用許諾)
67	津軽	③商品開発	青森ホースレザー活用促進事業	津軽地域馬肉振興協議会	800	五所川原地域では肉用馬の飼育が盛んであり、また、H27年度にHACCP対応の馬の食肉センターが田舎館村に整備されたこともあり、馬肉の需要も順調に伸びている。一方で、と畜の際に発生する皮などは全て産業廃棄物として処理されていることから、馬の皮を有効に活用して馬の革製品づくりを進め、新たな産業の創出を図る。 【事業内容】①馬革のなめし及び染色加工の実証、②県産馬革活用の促進、③先進地事例調査の実施及び工場との打合せ
68	津軽	③商品開発	「津軽半島浜小屋仕込み」商品展開強化事業	「津軽半島浜小屋仕込み」運営協議会	781	北海道新幹線奥津軽いまべつ駅の開業を契機に、浜小屋仕込みの味を旅行者に味わってもらおうというコンセプトで統一デザイン「津軽半島浜小屋仕込み」ブランドを立ち上げ、新たな土産品(商品群)を開発するとともに、ブランド化を図ってきた。ブランドの定着化に向けて、引き続きPR活動を展開しながら、商品群のつり合いのとれた販売促進に繋げていく。 【事業内容】①統一デザイン入り卓上ポップの製作、②統一デザイン入りレシビカードの製作、③販売店に対するアンケート調査の実施
69	津軽	④市場・販路開拓	国重要無形文化財指定「津軽塗」PRプロジェクト	青森県漆器協同組合連合会	1,800	津軽塗については、国内を始め、海外へ津軽塗の販売拡大や新製品開発を行ってきたが、生産はピーク時の10分の1と減少し、後継者も減っており、厳しい現状にある。一方で、H29年に国の重要無形文化財に指定さ、これを契機に、県内はもとより、首都圏における認知度をアップするため、その製造工程や魅力をPRする。 【事業内容】①国重要無形文化財指定と津軽塗の魅力を伝える動画作成、②パンフレット作成、③首都圏・県南での実演展示会の開催
70	津軽	⑤観光開発	あおもり・旬の食旅ツアー事業	特定非営利活動法人あおもり観光・誘客推進協会	2,000	観光客の旅の3大目的(動機)で最も多いのが「食べる」である。本県は、豊富でバラエティーに富む農林水産物を有する「食」の宝庫。「その土地ならではの食材、調理法、食事場所など」を食べることを目的とする食旅の宝庫でもあり、食旅ツアーによる観光誘客の伸びしろが大きいことから、『あおもり・旬の食旅ツアー』をモデル的に実施する。 【事業内容】①現地調査の実施、②食旅ツアーの開発、③参加募集のPR、④アンケート調査の実施
71	津軽	⑥スポーツ・文化交流	スポーツ鬼ごっこ指導員・審判員3級ライセンス研修会と津軽地区の小学生スポーツ鬼ごっこ交流	特定非営利活動法人ひろさきレクリエーション協会	800	子どもの健康増進や子ども同士の仲間づくり・コミュニケーション能力を育むため、「鬼ごっこ」という古来からの親しみのある遊びに一定のルールを明示した「スポーツ鬼ごっこ」の普及活動を展開してきた。近年、津軽地域にとどまらず全県的に「スポーツ鬼ごっこ」が広がっており、引き続き交流会を開催するとともに、不足ぎみになっている指導員・審判員を育成する。 【事業内容】①スポーツ鬼ごっこ指導員・審判員3級ライセンス講習会の受講、②3級ライセンス取得者の実践演習会の開催、③スポーツ鬼ごっこ交流会の開催
72	津軽	⑦その他	岩木川改修100周年感謝事業	岩木川環境公共ネットワーク協議会	1,968	岩木川は、津軽地域の農林水産業や伝統・文化の保全、自然環境・生物多様性の維持など、人々の暮らしに大きく関わっている。このような岩木川の重要性を再認識し、次の世代に伝えていくため、岩木川改修100周年を契機に、記念誌を作成するとともに記念フォーラムを開催する。 【事業内容】①岩木川改修100周年記念誌の作成、②岩木川改修100周年記念フォーラムの開催



番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
73	津軽	⑦その他	岩木山を望む地域の人づくり推進事業	岩木山地域を科学する調査研究会	1,121	岩木山は、津軽地域の気象や風土、農業、産業などに大きな影響を及ぼしていることを後世に伝え、岩木山を取り巻く地域の活性化の一助としていくため、これまで2巻に渡り大学等の研究や調査内容取りまとめた。今回は、地域に根差した郷土研究者の研究内容を取りまとめ、集大成とする。 【事業内容】①「岩木山を科学する3巻」の発行
74	県南	④市場・販路開拓	青森県産耐冷性酒米「青系酒195号(新品種)」のブランド化事業	地方独立行政法人青森県産業技術センター	372	県南地域でも作付け可能な酒造好適米「青系酒195号(吟烏帽子)」が初めて完成した。この酒米を県南地域、将来的には全県的なブランドとして育成していくため、関係者、一般消費者に育成経過や生産状況、特性などを伝えるPR冊子を作成する。 【事業内容】①青系酒195号(吟烏帽子)を中心とした青系酒米のPR冊子作成
75	県南	⑦その他	シングルマザー家庭貧困防止「知恵と情報」コミュニティ活動	パパママふあいと協会	800	子育てに忙しいママとパパたちへの子育て支援活動を通じて、ひとり親家庭が増加し、中でも、シングルマザーが経済的・精神的にも厳しい状況にあり、支援が必要であることが分かってきた。少しでも、シングルマザーが経済的・精神的な部分やしっかりと子育てできるよう、サポートする。 【事業内容】①制度の手続き等を取りまとめた冊子作成、②応援サイトの立ち上げ、③自立支援セミナーの開催
76	全県	①人材育成	青森県将棋まつり20回記念青少年育成・強化プロジェクト	青森県将棋連盟	600	青森県内の子ども達の将棋レベルは年々向上し、全国でも上位クラスとなっており、県内指導者のレベルを超えている現状にある。さらなるレベルアップには、プロの指導が必要であることから、青森県将棋まつりが第20回を迎えることを機に、プロ棋士による指導対局会を実施する。 【事業内容】①プロ棋士による指導対局会の開催(3回:青函交流将棋大会、女子アマ王位戦東北大会、青森県将棋まつりの前日)
77	全県	①人材育成	地域で作る「学び合いの輪」による生きがいエッセンスで生活気ある生活と地域を創出する事業	特定非営利活動法人日本人財発掘育成協会	800	青森県は、生涯学習の場が少ないことから、自らが講師となって、これまでの仕事や趣味から得た知識経験・技術を生かした講座を開設し、受講生と”相互学習”するシステムを青森市を中心に築いてきた。このシステムを生涯学習の講座が少ない地域に浸透させ、住民の学習意欲の向上、生きがい創出を図るため、意欲のある講師予定者を募集し、それぞれの地域での講座開設を支援する。 【事業内容】①講師の募集、②無料・有料講座の開催、③講座運営等に係る研修会の開催
79	全県	①人材育成	次世代青森りんごオピニオンリーダー育成のための大学等連携事業	一般社団法人青森県りんご対策協議会	2,000	りんごの消費者は、中・高齢者が中心の状況下であり、人口減少による需要の減少が予想される中、りんごの消費を維持・拡大していくため、青少年などにりんごを食べる習慣を定着させていくことが必要である。このため、将来「栄養教諭」・「管理栄養士」となる大学生に、りんごの美味しさやその有する機能性を正しく伝え、「青森りんごオピニオンリーダー」として育成し、大学生と連携しながらより一層、青森りんごの魅力を一消費者に対して発信していく。 【事業内容】①青森りんご学習冊子の作成、②栄養系大学授業等での青森りんごの活用
79	全県	①人材育成	パテント活用学生人財育成事業	一般社団法人青森県発明協会	2,000	産業のグローバル化が進む中で、国際競争に負けない、企業側のニーズに即したビジネスアイデアを提案できる高感度なアンテナを持って、行動できる人材の育成が必要とされている。県内の大学生を対象に発想力を高める知的財産教育を実施するとともに、小学生から高校生を対象に、プログラミング教育にスムーズに対応していけるよう、県内IT企業技術者等と連携した教育環境を提供する。 【事業内容】①知財技術活用型イノベーション人財育成プログラムの開催、②未来のおももり企業人財養成スクールの開催
80	全県	①人材育成	わくわくサイエンス出前授業	ハンドクラフトのあつとほ〜む	538	子供たちの科学に対する興味関心を引き出すことを目的として、県南地域を中心に、地域の団体と連携しながら出前型でのづくりと科学実験を実施してきた。本活動を高度化するとともに、全県的な活動に展開していくため、各地域の指導者育成と津軽地域で実験ショー・ものづくり体験会を開催する。 【事業内容】①体験活動の指導者研修、②科学実験ショーとものづくり体験会の開催、③視察研修
81	全県	①人材育成	青い森音楽祭2018	青い森音楽祭実行委員会	1,440	青い森音楽祭は、次代を担う子ども達の音楽教育の発展を目的に、青森市民文化祭参加事業として実施している。具体的には、子ども達がプロの演奏者と同じステージで音楽を演奏することによって、協調性や豊かな人格を形成する情操教育に結びつけていく。 【事業内容】①新人(県内小中学生から選考)によるフレッシュコンサートの開催、②中学生とプロ演奏家による合唱コンサートの開催

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額(千円)	事業計画の概要
82	全県	①人材育成	☆指導者と一緒に夢を叶える～青森からバドミントンで未来のオリンピック金メダリストを～	一般社団法人浪岡バドミントンクラブ	1,530	プロによる指導の結果、バドミントンの指導者が養成されつつある。また、小中高校を通じて3年間、指導してきた結果、子どもたちのレベルアップも図られてきた。これを継続することにより、指導者のレベルアップを図るため、指導者養成教室の振り返り教室を開催する。また、本県バドミントン選手の技術向上に向け、子どもを対象とした強化指導を行う。 【事業内容】①指導者養成教室の振り返り教室の開催、②子どもを対象とした強化指導
83	全県	①人材育成	漁業者育成事業	青森県漁協青年部連絡協議会	1,306	水産資源の回復・増大を図るためには、海藻の着生・発芽の促進や食害生物の除去などにより藻場を造形していくことが必要となっている。これまで、この作業を民間業者に委託していたが、漁業者自らが整備を行うとともに、施設の修復作業等にも生かせるよう、若者漁業者を対象に、国家資格である潜水士免許取得に向けた講習を実施する。 【事業内容】①潜水士実技講習会の開催、②潜水士学科講習会の開催
84	全県	②技術開発	りんご高密度植わい化栽培導入推進事業	全国農業協同組合連合会青森県本部	1,852	りんご産業を支える生産者の高齢化と担い手不足による栽培面積の減少に歯止めをかけ、将来にわたる適切なりんご生産量の水準を維持していくため、りんごのわい化栽培の一つの選択肢として、りんご高密度植わい化栽培の普及に取り組み、りんご産業の発展を目指す。 【事業内容】①栽培技術の向上、②苗木生産技術の確立
85	全県	③商品開発	「あおもりPG」ブランド認知度向上事業	一般社団法人あおもりPG推進協議会	2,000	弘前大学が開発した技術により抽出されたプロテオグリカン(原料はサケの鼻軟骨)を「あおもりPG」として化粧品などの美容健康分野へ応用し、140以上の商品が開発・販売されている。このうちの4件がH29年度に機能性表示食品になるなど認知度は徐々に高まってきているものの、競合するコラーゲンやヒアルロン酸に比べ、全国的に認知度が低い状況にあることから、「あおもりPG」の認知度向上と販路拡大のためのPR活動を展開する。 【事業内容】①大人の休日倶楽部会員誌への広告掲載、②県外の販路拡大、③成果指標の測定
86	全県	③商品開発	海藻を活用した商品開発と食育、販路開拓等「藻活」実施事業	あおもり海藻コンシェルジュ協会	1,314	青森県は海藻資源が豊富であるが、その認知度や料理方法等が普及していない。また、利用されていない資源も多い。海藻に関する食育活動「藻活」による料理方法や栄養価等に関する知識の普及により、青森県産の海藻の消費拡大を図る。また、資源の有効活用を図るため、低利用海藻を活用した加工商品を開発する。 【事業内容】①低利用海藻の商品開発、②販路開拓、③海藻に関する食育活動「藻活」の実施
87	全県	③商品開発	「華さやか」トータルプロデュース展開事業	華さやかブランド推進協議会	612	青森県で開発した新規酒造好適米「華さやか」の知名度を浸透させ、ゆるぎない地位を確立するため、日本酒だけではなく、製パンに優れている特性を活かす製造法を開発する。また、日本酒を含めた売込みに当たっても、酒・パン・米料理とのコラボレーションによるトータルプロデュースを展開し、「華さやか」の新たな需要の開拓と相乗効果による多様な消費者にマッチしたブランドを目指す。 【事業内容】①「華さやか」の精米粉を利用した米粉パンの製造法の開発と評価、②「華さやか米」トータルプロデュースイベントの開催
88	全県	③商品開発	青い森の食材普及促進・開発支援事業	ひろさき産学官連携フォーラム青い森の食材研究会	714	試験研究機関の研究者が一堂に会する研究会は、研究シーズとして蓄積した本県の農林水産物が有する機能性の情報を一元化し、新たな産業づくりをサポートしている。県産農林水産物の機能性を活かした代表事例としては、県産「黒ごぼう」を用いた「だぶる黒茶」の商品開発をバックアップしており、引き続き新たな商品づくりに向けたサポートを展開していく。 【事業内容】①情報発信(データベースの更新、ハンドブックの作成)、②機能性素材の利活用促進(大規模展示会への出展、フォーラムの開催)
89	全県	④市場・販路開拓	「青森の黒にんにく®」海外展開促進事業	協同組合青森県黒にんにく協会	2,000	「青森の黒にんにく」は国内はもとより、25か国へ輸出されているほか、国際規格基準の認定も海外から申込みがあるなど注目されている。世界に黒にんにくの料理を知ってもらい、にんにく産業300億円の達成を目標に、国内外のシェフによる黒にんにく料理の祭典「BLACK GARRLIC PARADISE 2018」を開催する。 【事業内容】①国内外シェフによるオリジナル料理の提供、②料理研究家によるレシピ対決、③レシピブックの作成、④海外シェフの「黒にんにく大使」任命と大使によるレシピ開発と動画の配信
90	全県	④市場・販路開拓	個性的なりんご「はつ恋ぐりん」の販路拡大事業	はつ恋ぐりんの会	418	りんごの新品種「はつ恋ぐりん」は、緑色で酸味が強い個性的な品種であり、H25年に登録された新品種ということから、知名度が低い。また、障害果の発生が多く、加工仕向けの生果や加工品(ジュース)の原料としての販売先を確保することが課題となっている。このため、販路開拓と知名度アップに向け、商品レベルの向上とPR活動を展開する。 【事業内容】①ホームページの作成、②販路拡大に向けたアグリフードEXPOへの出店、③新たなパッケージの作成

番号	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額 (千円)	事業計画の概要
91	全県	⑤観光開発	国際定期便充実強化事業	青森空港国際化促進協議会	1,684	青森・ソウル線の利用はアウトバウンドが2割程度に留まることに加え、本県を含めて全国的に韓国便を増便しているため競争が激化している。また、天津線はH30年から日本人の利用が可能になることを踏まえ、国際線の維持・増便に向けて、双方向利用の促進による搭乗率の向上を実現するため、県民にソウル線のハブ空港としての有効性を発信するとともに、天津線の認知度向上を図る。 【事業内容】 ①ソウル線を活用した乗り継ぎ便モニターツアーの実施、②天津線を利用した県内メディアを対象としたツアーの実施
92	全県	⑤観光開発	平成30年度津軽半島・下北半島周遊バス実証運行事業	むつ湾内航路活性化推進会議	918	蟹田・脇ノ沢のフェリー航路は、観光客の交通手段として重要であり、地域経済活性化に不可欠であるが、利用客が減少している。航路の利用者を増加させ、下北地域における観光消費の拡大を図るため、バスとの組み合わせによる陸奥湾周遊ツアーの効果を検証する実証実験を行う。 【事業内容】 ①津軽半島・下北半島周遊バス実証運行の実施
93	全県	⑤観光開発	青森港クルーズ客船誘致強化事業	青森港国際化推進協議会	1,454	近年のクルーズ船による旅客数は、国内は元より、青森港(国内及び国外)においても順調に伸びており、今後もその傾向が期待できる。本協議会では、「青森港クルーズ客船寄港促進アクションプラン」を策定し、青森港に寄港するクルーズ船が年間100隻、旅客数が年間10万人を目指しており、青森港を核とした観光振興に取り組み、県内への経済波及効果を促進する。 【事業内容】 ①青森港及び県内観光地のPR動画の製作
94	全県	⑥スポーツ・文化交流	日露交歓コンサート2018開催事業	日露交歓コンサート2018事業実行委員会(仮)	2,000	青森県は、音楽鑑賞や一流の音楽家に指導を受ける機会が少ない中、H30年度にロシアのチャイコフスキー記念国立音楽学院との連携によるコンサートの開催の機会を得た。県民一人ひとりが音楽を通じて、創造性を育むとともに、子どもたちの演奏技術の上達、国際親善を目的として、日露交歓コンサートを開催する。 【事業内容】 ①コンサートの開催、②中・高生を対象とした音楽家による特別講習の開催
95	全県	⑥スポーツ・文化交流	風船の全国大会「ツイスターズ2018in青森」PR事業	ツイスターズ2018実行委員会	916	H30年に青森県では初のバルーンアート全国大会「ツイスターズ2018in青森」が開催される。大会開催前に県民の風船に対する興味を引き出し、県内外から大勢の来場者を確保するため、新たな手法でバルーンアート等に関するPRイベントを県内3市(青森、弘前、八戸)で同時に開催する。 【事業内容】 ①フオトスポットの設置、②バルーンアート作品の展示
96	全県	⑥スポーツ・文化交流	ダーツ競技普及の為にプロによるレッスン会開催事業	北の祭実行委員会	1,229	ソフトダーツは、誰でも簡単に取り組める生涯スポーツであるが、県内には実施できる場所が僅かであるため、スポーツとしての認知度が低く、競技人口が少ないほか、競技レベルも低い状況にある。ソフトダーツの普及と競技レベルの向上を目的に、本県で唯一のソフトダーツ大会の前日に、プロ選手によるレッスン会を開催する。 【事業内容】 ①ソフトダーツレッスン会の開催
97	全県	⑥スポーツ・文化交流	青森県とベトナムの「草の根」文化交流の推進事業	青森県とベトナムの文化交流を推進する会	1,188	各都道府県では、ベトナムの今後の経済発展を見込んだ販路開拓やベトナム人実習生の技術習得に向けた実利的な面に傾斜した交流になっている。青森県では、ベトナムとの相互理解、心が通う民間ベース(草の根)での文化交流から始め、これをベースとして経済交流の呼び水にしていきたい。ベトナムの若者が活発に取り組んでいる「よさこい」を文化交流の端緒として展開する。 【事業内容】 ①ベトナム「日本春まつり」の事前調査及び「よさこい」の試作演舞、②試作演舞の最終調整、③ベトナム人留学生とベトナム人実習生との「よさこい」の公演活動
98	全県	⑥スポーツ・文化交流	東北の現代工芸の普及活動&芸術教育支援事業	クラフト小径実行委員会	340	青森県内の若手クラフト作家の作品発表の場、作家と使う人が出会う場、全国の作家同士、作家と来場者の交流の場として、クラフト小径展覧会を開催している。年によってテーマを変えながらワークショップを開催し、H30年度は家族向けの『クラフトー食ー暮らし』をテーマに、それぞれの繋がりを考える機会のクラフトワークショップとして開催する。 【事業内容】 ①Art unit「Goma」のワークショップを開催
99	全県	⑦その他	青森の海と川をきれいにする運動	一般社団法人青森県水産振興会	650	海洋汚染やゴミの増加による海洋環境の悪化が、水産資源の減少の一因にもなっている。このことから、次代を担う児童・生徒を対象にした「海と川の環境保全」への意識付けを行う取組を展開することで、本県水産業の振興に繋げていく。 【事業内容】 ①「青森の海と川をきれいにする運動」の作品コンクールの開催、②入賞作品の展示会の開催、③全国絵画展に出展、④作品集の作成